



『橋から読む近代の都市デザイン 大大阪を彩る橋図鑑』  
刊行記念イベント



大阪の橋・東京の橋

# 100年の歴史とまちとの関わり

大阪・東横堀川に架かる大手橋（1926年完成）は今年100周年を迎えます。そして、市内には九之助橋（1926年）、堂島大橋（1927年）、末吉橋（1927年）など、まもなく100周年を迎える橋梁が多数存在します。

時を同じくして、東京でも隅田川に架かる永代橋が震災復興事業により架け替えられ、今年100周年を迎えます。本イベントでは、大手橋100周年を記念し、大阪と東京の公共施設のデザインや景観、まちづくりの専門家を迎え、大阪の第1次都市計画事業と東京の帝都復興事業で整備された橋梁を中心に、時代背景と橋梁デザインとの関係性など、当時をひもときながら、現代の多様化する市民ニーズを踏まえて、未来につながる景観デザインの方向性について、読み解いていきます。



書籍案内

橋から読む近代の都市デザイン 大大阪を彩る橋図鑑

阿久井康平 著

2026年1月刊行  
B5判コデックス装／298頁  
3,000円＋税 鹿島出版会

日時 2026年6月6日(土)

プログラム1 大手橋現地説明会

10:00 - 11:40 (受付 9:45～) ※小雨決行(荒天中止)

会場 東横堀川大手橋および東横堀川緑地(遊歩道)

10:00-11:00 大手橋橋洗い

11:10-11:40 阿久井康平(大阪公立大学准教授)、阿部文和(大阪歴史博物館学芸員)による解説 ※解説時に、大手橋アーチ下遊歩道を特別開放



プログラム2 シンポジウム

14:00 - 16:00 (受付 13:30～)

会場 大阪歴史博物館4階 講堂(大阪市中央区大手町4-1-32)

講演プログラム

基調講演 「日本の近代橋梁デザインの誕生 — 永代橋はいかにして生まれたか」 中井 祐(東京大学教授)

講演1 「歴史と文化」 阿部文和

講演2 「技術とデザイン」 阿久井康平

パネルディスカッション

コーディネーター 嘉名光市(大阪公立大学教授)

コメンテーター 尾上さとし(FM COCOLO DJ)

パネリスト 中井 祐×阿久井康平×阿部文和

司会 三谷直子(一般社団法人水辺ラボ)



参加費 無料(事前申込制) 下記のPeatixよりお申し込みください。



<https://event202606-osaka-bridge.peatix.com>

※午前(プログラム1)と午後(プログラム2)の両方に参加される場合は、それぞれ別途お申し込みください。  
※会場では、本書と関連書籍を販売いたします。

Amazonほか、全国の大型書店にて販売中

4月20日  
14時より  
予約開始

主催: 東横堀川水辺プラットフォーム、鹿島出版会 共催: 大阪歴史博物館、水都大阪ブリッジテラス実行委員会、大阪市  
後援: 関西道路研究会、水都大阪コンソーシアム、土木学会関西支部、日本橋梁建設協会、日本鋼構造協会、東京都建設局 協力: FM COCOLO  
【お問い合わせ先】 鹿島出版会 出版事業部 info@kajima-publishing.co.jp